

# 2020年7月に開催されたハイレベル政治フォーラム（HLPF2020）と自治体による自発的なSDGs進捗レビュー（VLR）の動向

Amson Sibanda 国際連合 経済社会局（UN DESA）チーフ

日本語訳コメント全文

皆さま、こんにちは。NYからこの会議にリモート参加できて光栄です。また、招待を頂いた主催者に感謝します。

都市や地域があらゆるSDGsの達成に重要な貢献を果たすのは明らかです。

国連経済社会局（UNDESA）は、世界の都市・地域がこのチャレンジに参画していることを大変うれしく思います。

しかし、都市・地域は受け身のアクターではなく、特にコロナ禍で、持続可能な社会変革への主要な原動力として認識されるべきです。都市がイノベーションの触媒となる可能性が大いにあります。都市は、より良いサービスを提供し、すべてのコミュニティの生活水準を向上させる新しい政策とイニシアチブをデザインし、試行する先駆者です。

このため、中央政府を含む他の多くのステークホルダーは、SDGs実装の経験から学ぶことができます。

2019年のSDGサミットで採択された政治宣言では、国連加盟国がSDGsの実現における都市、地方自治体、コミュニティの重要な役割を再確認し、エンパワーメントと支援を約束しました。

UNDESAは国連ハイレベル政治フォーラム（HLPF）の事務局として、SDGサミットで採択された政治宣言における誓約が、今年7月に開催されたHLPFにおいて地方レベルへの注目が高まることを通じて、具体化してきていることを嬉しく思っています。

例えば、今年のHLPFでは、「パンデミックを制御し、SDGs実現のための実施を加速するための地域での行動を強化するために」と題する公式セッションを開催し、神奈川県黒岩知事にパネリストとしてご参加いただきました。

また、HLPF期間中に「第3回2030アジェンダに関する地方自治体フォーラム」をローカル2030（Local 2030）、国連人間居住計画（UN-Habitat）、国連開発計画（UNDP）、地方自治体グローバル・タスクフォースとともに開催しました。/このイベントには、多数の市長や知事、国家政府代表、学術関係者、その他のステークホルダーが集まりました。

参加者は、新型コロナウイルスからのより良い回復のために、都市がSDGsをどのように活用しているか、世界が直面する課題への持続可能な解決策への探求を「行動の10年（Decade of Action）」でどう加速させていくかについて議論しました。

HLPFでは、多様なレベルでのガバナンス、VNR（自主的国別レビュー）とVLR（自主的自治体レビュー）における地方レベルの報告をテーマとしたVNRラウンドイベントをUN-Habitatと共催しました。/このイベントでは、VNRとVLRの関連性が紹介され、このプロセスの対話が全てのレベルの組織に利益をもたらすことが強調されました。

この他にも、多数のサイドイベントや会議に都市や地域が参加していました。

UNDESAは、SDGs実施の進捗状況の確実なモニタリング・レビューを確かなものにしていくために精力を尽くしていきます。/この観点から、VNRをモデルにした、都市や地域による自主的なSDGsのレビューであるVLRの動きが加速していることを嬉しく思います。

これらのレビューは、SDGsのローカリゼーション（地域での活用）に大きなベネフィット（恩恵）をもたらすと考えています。/例えば、統合的な政策策定や調整、ステークホルダーの関与、適切な実施手段やデータ収集の強化といった観点からベネフィットがあると考えています。

VNRとVLR、どちらのプロセスも、国レベル、地方レベルそれぞれに大きなメリットをもたらすものです。/その一方で、相互のプロセスを強化することができることから、我々は、VNRとVLRの対話を促進することに関心を持っています。/より多くの国連加盟国が、地方レベルのレビューで得られた知見をVNRに活用し、地方政府が国レベルのSDGs実施のレビュープロセスのパートナーとなることを期待します。

この点で、日本において、全ての政府レベルでSDGs実施の連携が図られていること、VLRに対する日本の都市が熱心に取り組んでいることに非常に感銘を受けています。

下川町、北九州市、富山市、浜松市などの先駆者たちが、世界中の都市にインスピレーションを与え、レビュー過程での貴重な教訓を共有してくれます。/また、IGESの質の高い分析はVLRの進展に貢献しており、IGESと協力できていることを非常に嬉しく思います。

UNDESAは、当初からVNRを支援し、毎年、国を対象とした相互学習のワークショップを開催しています。/ここでの本当の専門家は、自身でレビューの全サイクルを経験し、レポートを準備した人であることに気がつきました。

そこで、今年6月、地方関係者のためにローカルレビューの同様のイベントを開催しました。/世界中の都市・地域が集まり、VLRプロセスがSDGsの実装にメリットをもたらす方法について話し合い、レビューから得られた教訓を共有しました。/日本からも参加者があったことを光栄に思っており、今秋予定のワークショップにも関心のある都市を招待したいと考えています。

日本の自治体が作成するVLRレポートがさらに増えることを楽しみにしています。/これらのプロセスは、都市がSDGの実施状況を確認し、必要に応じて政策や行動を変えていくことに役立ちます。/また、VLRは、持続可能な開発に向けた私たちの道のりにおいて、何が成功したのか、どのように落とし穴を回避したかを世界中で学び合うことに役立つものです。

ご清聴ありがとうございました。